

②子ども会



子ども会活動は、それぞれの地域で年齢の違う子どもたちが集まって、ともに遊び活動すること、社会のルールや協調性、人に対する思いやり、生活の知恵や技術を身に付けるなど、地域による子育てを目的としています。また、地域で子どもをほぐくむための大人同士のつながりを築くことができます。

現在、市子ども会連合会に35団体が所属しており、引き続き加盟団体を募集しています。地域の子どもたちとともに地域づくりを進めていくために子ども会をつくりませんか。また、各地域の子ども会では会員を募集しています。

なお、子ども会活動を支援する

ため、市は次の助成を行っています。

▽活動支援報奨金…1団体10000円に加え、会員1人当たり5000円の活動費の助成

▽健康増進施設利用助成…市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」を利用する場合に、1団体につき年度内2回を限度とする入館料金の助成

■問い合わせ

市子ども会連合会事務局（子ども課内☎0288）

みんなで子どもを守る

母子保健や児童福祉、学校教育、青少年育成など、子どもと子育て支援にかかわる業務は、子ども課のほか、健康づくり課や教育委員会などいくつかの部署にまたがっています。

子どもの成長を一貫してとらえ施策を実施していくため、今後も関係機関が連携し、子育て支援を推進していきます。

また、行政だけでなく、地域の皆さんの力も欠かせません。地域で子どもを守り育てていくため、皆さんのご協力をお願いします。

わくわく子どもフェスタ21

ステージ発表者募集

とき **6月20日**（土）
午前10時開会

ところ **栄町商店街**
（当日は歩行者天国）

子育て関係団体等による「手づくりコーナー」や「食べるコーナー」など、つくって、遊んで、見て、楽しむ参加型イベントです。ぜひ、親子で楽しんでください。

また、特設ステージでは、子どもたち（中学生以下）の歌や踊りなどの発表を計画しており、現在、出演者を募集しています。

多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

■問い合わせ・出演申し込み
同フェスタ実行委員会事務局
（子ども課内☎0288）

子育て応援特別手当の申請はお済みですか？

市は、定額給付金申請書類と一緒に、対象児童1人につき36,000円を支給する「子育て応援特別手当」の申請書類を、対象の世帯主あてに3月下旬に送付しています。

申請期限は10月1日（木）ですので、申請忘れのないようにご注意ください。

対象となるのは、次の両方の要件に該当する子どものいる世帯主です。

- ①基準日（平成21年2月1日）に、高梁市の住民基本台帳に登録されている子ども、または外国人登録原票に登録されている子ども（不法滞在者および短期滞在者は対象外）
- ②平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた第2子（※）以降の子ども

（※）第2子の判定は、生年月日が平成2年4月2日以降の子どもの中から年齢順に第1子、第2子と数えます。

【注】第1子が別世帯となっているなど、住民基本台帳から把握できない場合も、同一の医療保険等の被保険者の被扶養者となっていれば対象となる場合がありますので、お問い合わせください。

■問い合わせ 子ども課子ども支援係（☎0288）

二代 米川文子さん 名誉市民に

高梁市への愛着と、芸術・文化への限りない情熱

市は4月26日、名誉市民推戴たひ式を行い、重要無形文化財「箏曲」の保持者（人間国宝）の二代 米川文子（本名・操）さん（82）に東京都大田区に高梁市名誉市民の称号を贈りました。

米川さんは、本市名誉市民・人間国宝の故初代 米川文子さんの姪で、昭和14年、初代に師事、昭和29年12月に養子縁組を結ばれました。優れた才能と間断なき研鑽さんに

基づく高い芸術と気品に富んだ演奏により、三度の御前演奏を行われるとともに、昭和63年オーストラリア首都キャンベラで開催された世界音楽教育国際会議（ISME）への参加演奏など、海外でも活躍されています。平成12年6月には、二代 米川

文子を襲名され、双調会の家元として門弟の育成に当たられるとともに、平成15年には社団法人日本三曲協会会長に就任しておられます。

本市では、故初代 米川文子さんとともに出演された平成元年開催の「箏曲の祭典」、平成12年の「二代 米川文子襲名記念演奏会」での演奏や、高梁市文化振興基金への寄付など、地域文化の振興と芸術の発展に寄与いただいています。

またこの間、紫綬褒章・勲四等宝冠章などその業績にふさわしい数々の榮譽に輝かれ、昨年

9月には、重要無形文化財「箏曲」の保持者認定（人間国宝）とされたところです。

このことは多くの市民に励みと誇りを与え、親子二代にわたる本市への強い愛着心、また、芸術・文化へのあくなき情熱によって、地域社会の振興に大きく貢献されています。

二代 米川文子さんの名誉市民推戴は、2月の高梁市名誉市民審議会の答申を受け、3月定例市議会に上程。議会の同意を得て決定したものです。

本市の名誉市民推戴は、市町合併後は初めてで、昭和37年の故国分三亥さんから15人目となりました。



推戴状の贈呈